

Title	編集後記 奥付
Sub Title	
Author	常盤, 政治
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1954
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.47, No.7 (1954. 7)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19540701-0087

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

經濟學會 報告會 目次 (昭和二十九年六月・七月)

六月三日
ローマの農政

——Cicera, lege agraria を中心として——
宇尾野 久

六月十日

明治初年における産業政策の諸問題

——殖産興業政策の展開を中心として——

尾城 太郎丸

六月十七日

栃木縣下都賀郡小野寺村實態調査報告

——地主制と農業經營、特に山林所有をめぐる——

島崎 隆夫

六月二十四日

リチャード・ジョーンズにおける生産的労働の概念

平野 絢子

七月一日

戦後に於ける連邦準備政策の推移

安井 孝治

七月八日
「生業生産性の計測——大規模生産の經濟性と分配率——」
尾崎 巖

第四十七卷 第八號目次 (次號)

家族計畫とその人口政策的意義

寺尾 琢磨

恐慌の資本制的性格といわゆる „Der letzte Grund“ のこと

常盤 政治

——「過少消費説」克服のために——

資料

英連邦の統一について (下) …………… 矢内原 勝

書評及び紹介

經濟學關係文献目錄

編輯後記

最近ある必要にせまられて、社會發展法則の具體的解明のために原始社會から資本制社會の成立に至るまでの日本の歴史を概観的に描く機会にめぐまれた。そこで、われわれが義務教育の課程において教えられた、いわゆる「歴史上の人物」達の對立・抗爭・妥協・支配等々の形態及び必然性も夫々一定の歴史的發展段階における直接生産者達の主體的動きによつて如何に規定されるものであるかが今更ながらヴィヴィッドに感ぜられたのである。例へば補正成は名主・作人層を中核とする畿内の「黨的一揆の勢力」という一團領主制の成立を要求する革命的勢力を基盤として擡頭しながら、少くとも天皇後三條のころまで歴史の齒車を逆轉させようとした古代天皇制の公家勢力に癒着することによつて一揆の勢力から見なされ、遂に淡河に潰え去つたのであつた。鐵の如き必然性をもつて進行する歴史の運動法則の前には、なにびともそれを阻止したり逆轉させたりすることはできない。とは言え、現實の政治現象はかくすつきりした形をとるものではない。最近の國會亂闘事件は國會に對する國民の不信を益々激化し、ファシスト達の擡頭による口實を與えることともなりうるであらう。人間行爲の試行錯誤を通じて新しい歴史の航路を見失つてはならない。社會科學とくに經濟學がそのような「航路」を照すところにその使命があるとするならば本誌もまたかかる使命に一寄與をなすべきことを期待するの蓋し私一人ではあるまい。かかる意味において森教授の力作に期待しつつも、本七月號が論說一篇にとどまるのはいささか寂寥の感に耐えない。

だが、本號から新しい試みとして、學界の勞作に廣く目を向けるための一つの刺戟として多くの「書評」を掲載することとした。雑誌の價值評價が、おおく「書評」によつてなされんとするならば、本誌の價值評價のためのミッテルをヨリ多く提供することを意味するであらう。それによつて如何なる評價が與えられるとしても、それが本誌の質的向上のための一契機ともなれば意義あることとしかければならない。

(常盤政治)

昭和二十九年六月二十五日印刷
昭和二十九年七月一日發行

第四十七卷 定價 七〇圓
第七號 送料 八圓

東京都港區芝三田慶大經濟學部内
編輯者 氣賀健三
發行所 圖書印刷株式會社
東京都港區芝三田豐岡町八
川口芳太郎

東京都港區芝三田三丁目
慶應義塾大學經濟學部研究室内
發行所 慶應義塾經濟學會

豫約購讀料
一年分 金八四〇圓 (送料共)
半々年分 金四二〇圓 (〃)